人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

≪試料・情報の利用目的及び利用方法≫	●研究の名称 肝硬変患者における肝性脳症の発症を予測する新規バイオマーカーの探索
	●研究の対象 当院にて慢性肝炎（B 型肝炎、C 型肝炎または NASH、PBC、AIH、アルコール性肝炎）かつ非肝硬変と診断され，2000 年 1 月から 2023 年 3 月までに外来を受診された方。50 名
	●研究の目的 肝硬変では肝性脳症、黄疸、腹水、肝がんなどの重篤な症状を合併し、患者さんの生活が大きく損なわれます。その中でも肝性脳症は記憶障害や運動能力の障害など軽いものから始まり、重症化すると昏睡に至ってしまう合併症です。 肝性脳症は採血により血中アンモニアを測定することが診断の重要な手掛かりになりますが、特に軽症の場合は診断が難しく、また発症を事前に予知することは困難です。 そこで肝性脳症の発症を予測できる血液中の物質を探索する研究が重要と考えています。この研究により、患者さんの肝性脳症を早期に発見することが可能になり、肝性脳症の診断学を進歩させる貴重な成果を生み出せると考えています。
	●研究の期間 研究機関の長による実施許可日より(西暦) 2033 年 3 月まで
	●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。
≪利用し、又は提供する試料・情報の項目≫	●研究に使用する試料・情報 情報：病歴、治療歴、臨床検査結果、血液検体整理番号、病理検体整理番号等 試料：血液
≪利用する者の範囲≫	●機関名および責任者名 浜松医科大学医学部附属病院肝臓内科 准教授・診療科長　川田一仁

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

≪試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称≫	国立大学法人 浜松医科大学
≪試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）≫	あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下≪問い合わせ先≫をご確認ください。
≪資料の入手または閲覧≫	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
≪情報の開示≫	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。
≪問い合わせ先≫	〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学医学部附属病院 部署名：　内科学第二講座 担当者：　川田一仁 TEL：　053-435-2263（平日９時から 17 時まで） E-mail：　kawata@hama-med.ac.jp